



# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2017. 8.28 No.2247 No.6



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長

**野崎 正明**

Masaaki Nozaki

みつめよう  
豊かな心で

皆さん こんにちは。

8月も今週で終わりです。『IM』も9月2日の開催、いよいよ5日後にせまってまいりました。本日の例会は、「クラブ・フォーラム IM準備」となっております。よろしくお願いいたします。

さて、皆様もご承知のように三条市は全国でも有数な“ものづくりの町・金属産業都市”として発展してまいりました。三条市の景気を見る上で、この産業、製造業の数値等もかなり参考になっているように思います。

直近の景気につきましては、まだはっきりと好景気と言えない状況ではありますが、鋳工業生産をみますと、前月比に比べ、7月0.8%増、8月は3.6%増の上昇が予測されております。持ち直しの動きから、ようやく据え置きという表現にかわりつつあるようです。

需要産業別でも土木、建築、自動車関連、産業機械など、殆どどの産業が増加傾向にあります。こうした状況が3年後、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催まで継続して欲しいものです。

政府もオリンピックの開催によりますインバウンドの飛躍的拡大を予想し、具体的に4,000万人の訪日観光客を目指して、観光ビジョンを策定しております。

一方、中国人観光客を中心とした爆買は残念ながら、昨年後半約2年間でそのブームの終焉を迎えました。当時の高額商品から日用品まで大量に買い込み、家電量販店など闊歩する観光客の映像など見ることは出来なくなりました。

しかし、訪日観光客の数は4年連続で1,000万人を超えており、昨年2016年は2,400万人、そして今年はさらに増加することが確実視されております。

また、爆買の終焉の理由は、一つに中国の習近平国家主席の贅沢禁止令の徹底とその浸透、そして2点目として、越境ECの中国国内での購入チャンネルの増加、3点目に訪日観光客の目的の変化、いわゆる物を買うことから食や文化あるいは人間ドックなどの医療を体験することに变化したことが挙げられております。

インフラ整備あるいは観光資源の整備などが進められれば、訪日観光客のこの目的変化を満たすことは地方である私達の地域でも十分可能であると思います。また、こうした状況変化を一つのビジネスチャンスとして捉えればこの地域の活性化にもつながっていくと思います。

ビジネスチャンスを逃さず、目標や夢を持ちながら頑張っていければと思います。本日の挨拶は以上とさせていただきます。

## 四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

国際ロータリー会長  
第2560地区ガバナー  
第4分区分ガバナー補佐  
会長  
幹事  
S A A

イアンH.S.ライズ [オーストラリア]  
新保清久 [新潟万代]  
鈴木武 [三条南]  
野崎正明  
熊倉高志  
吉沢栄一

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

**三条信用金庫本店 内**

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

U R L http://www.sanjo-minami.jp

Rotary



ロータリー  
変化をもたらす

出席率

会員48名中34名

先々週の出席率

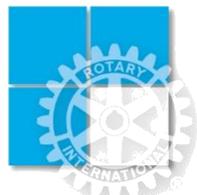
93.33%(8/7)

先週のメークアップ

8/25 吉田RCへ 坂井範夫君

8/26 国際奉仕フォーラム(新潟)へ 長谷川直哉君

8/27 ローターリー財団セミナー(新潟)へ 丸山征夫君



## ニコニコボックス

野崎君

本日は「クラブ・フォーラムIM準備打合せ」です。皆さん、よろしくお願いいたします。

熊倉君

本日は、IM準備・打合せです。皆様、よろしくお願いいたします。

丸山(征)君

愈々IMが近づいて来ました。今日のように涼しければよいのですが。夏もそろそろ終わりで、次は寒い冬になるのかあ・・・。

田代君

本日はIMの準備です。よろしくお願いいたします。

馬場君

「第4分区IM」が三条南の力を発揮する時です。みんなで協力して頑張りましょう。

坪井君

IMがうまく行きますように。



8月28日 ¥13,000  
今年度累計 ¥99,000

**Niko  
Niko  
Box!**

坂本君、佐藤君、鈴木(囃)君、銅冶君  
野水君、渡邊(久)君、渡邊(光)君  
BOXに協力いたします。



## CLUB FORUM IM 準備・打合せ

田代総務委員長の最終説明後、  
心をこめたおもてなし第一弾！  
記念品の箱組み立て、箱詰め作業へ



予行練習：松崎ソングリーダー



完成品はこちら。  
多くの皆様のご来会をお待ちしております。



# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2017. 9. 2 No.2248 No.7

## Rotary



# 第4分区INTERCITY MEETING

<b>出席率</b>	会員48名中33名	<b>先々週の出席率</b>	93.48%(8/21)
<b>ゲスト</b>	第2560地区パストガバナー(2012-13年度)	鈴木重彦様	(長岡RC)
	第2560地区パストガバナー(2006-07年度)	中條耕二様	(三条北RC)
	第2560地区パストガバナー(2008-09年度)	馬場信彦様	(三条南RC)
	第2560地区ガバナーエレクト	川瀬康裕様	(三条RC)
<b>先週のメークアップ</b>	8/31 見附RCへ (公式訪問)	佐々木常行君	
	8/31 加茂RCへ	内藤豊大君	
	8/31 三条東RCへ	馬場信彦君 星野健司君 石山昌宏君 栗山佳大君	
		永桶俊一君 名古屋豊君 内藤豊大君 中田雅也君	
		坂本洋司君 谷 晴夫君 渡辺俊明君	

国際ロータリー第2560地区  
2017-18年度 第4分区  
**INTERCITY MEETING**

Rotary

ロータリーの明日を担う  
-新会員の声を聞く-

日時: 2017年9月2日(土)  
13:30-18:30  
会場: ジョ・ワールドVIP  
ホストクラブ: 三条南ロータリークラブ

PROGRAM		(敬称略)
PM 1:00	登録受付	
1:30	開会点鐘 「国歌」「奉仕の理想」斉唱 「ロータリーの目的」唱和 握手タイム 歓迎の言葉 来賓・参加クラブ紹介と主催者挨拶	司会 荒澤威彦 ガバナー補佐代理 丸山征夫 ソングリーダー 松崎孝史 桑原朋子
2:00	講師紹介・IM趣旨説明 基調講演「ロータリーの明日を考える」 パストガバナー 鈴木重彦様 ～ 休憩・コーヒータイム(10分) ～	ホストクラブ会長 野崎正明 ガバナー補佐代理 丸山征夫 IM実行委員長 大溪秀夫
2:40	パネルディスカッション「-新会員の声を聞く-」 パネリスト (入会年月) 三条 RC 中條 克俊 (2015年10月) 燕 RC 藤崎 滋人 (2014年7月) 分水 RC 下村 克実 (2014年5月) 吉田 RC 大谷 直文 (2015年7月) 三条北 RC 松山 浩仁 (2014年8月) 三条南 RC 長谷川直哉 (2013年9月)	
4:00	講評 アドバイザー 鈴木重彦様	
4:15	2018-19年度ホストクラブ挨拶 2018-19年度ガバナー挨拶	分水RC会長 久住勲夫 ガバナーエレクト 川瀬康裕 ガバナー補佐代理 丸山征夫
4:45	閉会点鐘 ～ 休憩(15分) ～	
5:00	懇親会 開会の言葉 乾杯 アトラクション “The Mandums” 「手に手つないで」斉唱 中締め	司会 平松修之 IM副実行委員長 田代徳太郎 パストガバナー 中條耕二
6:30	諸事お知らせ・閉会	パストガバナー 馬場信彦 平松修之



## 第4分区IMの開催にあたり

新保 清久 国際ロータリー第2560地区ガバナー

9月2日に三条南ロータリークラブがホストとして開催されます第四分区のIMを心よりお祝い申し上げます。

今回のIMは、「ロータリーの明日を担う-新会員の声を聞く-」をテーマに、鈴木重彦パストガバナーの基調講演と新会員をまじえたパネルディスカッションが企画されており、今後のロータリーを考える上で大変参考になるものと思います。

イアン H.S.ライズリー会長の今年度テーマは、「ロータリー：変化をもたらす」です。

ロータリーは、長年にわたる奉仕活動により地域や世界中の人々に変革（改善）をもたらしてきましたが、今後も世界有数の奉仕団体として存続するためには、時代に適応したクラブ運営が必要になります。

女性会員を増やすことは勿論のことですが、若い会員の入会促進に真剣に取り組まなかったら、10年後、20年後にロータリーがどうなっているのでしょうか。若い会員の入会と参加をたえず促していくための新しく、より効果的な方法を何としても見つけなければなりません。

ロータリーは、2016年の規定審議会で方針の見直しを行い、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をしました。

ロータリーの友 7月号でRI理事メッセージが掲載されております。

斎藤直美理事から2016年規定審議会を重視した新しいクラブ創りで、参考になる具体的な提言がありました。また石黒慶一理事からは、クラブ運営において直前会長、会長、会長エレクトの間で信頼性の構築が大切であると述べられております。

各クラブにおかれましては、「時代に追いつき、時代に適応して、将来の準備」が出来るように変革と継続性、信頼性を取り入れた中長期の戦略計画の作成と取り組みにより多様性、柔軟性、強靭性のあるクラブ運営をされることを期待しております。

最後になりましたが、第4分区のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

丸山 征夫 第4分区ガバナー補佐代理

本日は第4分区の大勢の皆様の出席をいただき誠に有難うございます。ガバナー補佐代理の丸山でございます。

第2560地区新保ガバナー年度のテーマ「クラブと地区の変革をめざそう」及び第4分区IMのテーマ「ロータリーの明日を担う—新会員の声を聞く—」に基づき、鈴木重吉バスターガバナーをお迎えし、基調講演をしていただいた後、第4分区各クラブの中からノミネートされた方々にロータリーへの入会のきっかけや入会後の経験や抱負などの発表をお願いしております。皆様どうぞパネリストの活発なご意見や希望などを期待して下さい。

またパネリストの皆様はどうぞ緊張などなさらずに、ゆったりとした気分で自分の思うことなど自由に発表をしていただきたいと思います。登壇されましたら、始まる前に深呼吸を2-3回して、手のひらに人という文字を書いてそれを飲み込んでみたら如何でしょう。

ところでライズリーRI会長の場合は、「ロータリーに入会してどうなったか」と聞かれ 彼は4つ答えを言われました。

1つは、異業種の会員と友情を深めることができた。

2つ目は、自己啓蒙ができた。入会して人前で話すのに自信が付き不安が無くなった。

3つ目は、友人が増えた結果、仕事も増えた。

4つ目は、世界の為になれること。個人では不可能なこと、例えばポリオを無くすとか。皆が集まれば世界貢献ができる。

と答えられました。

皆様の場合は如何でしたでしょうか？

ここに参加の第4分区各クラブの更なる変革と発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。



## 歓迎の言葉ご挨拶

野崎 正明 三条南ロータリークラブ会長

第2560地区、第4分区 11クラブの皆様、本日は三条南ロータリークラブ主催の「IM」によるおそおいでございました。ホストクラブを代表しまして、心より歓迎申し上げます。

そして何かとご多用の折にも拘わらず、「ロータリーの明日を考える」をテーマに基調講演並びにパネルディスカッションでのアドバイザーをお引受けいただきましたバスターガバナー

鈴木重吉様に心より感謝申し上げます。

今年度のIMは、RI会長 イアン H.S.ライズリー氏のRIテーマ、そして新保清久ガバナーの地区テーマを受け、「ロータリーの明日を担う—新会員の声を聞く—」をテーマにパネルディスカッションを行うこととなりました。

若いメンバーの皆様から発言していただくことで、少しでも将来のロータリーを考える時間となれば幸いです。

IMの目的は、自己研鑽、情報交換、そして親睦であります。懇親会では胸襟を開き、友情と親睦を深める楽しい時間をお過ごしいただきたいと存じます。

第4分区 11クラブの皆様のご協力と参加に心より感謝申し上げ、歓迎の挨拶とさせていただきます。



## 講師紹介・IM趣旨説明

大溪 秀夫 IM実行委員長

皆さん、こんにちは。第2560地区、第4分区のロータリアンの皆さん、今日は三条南クラブが開催する「IM」によるお集まりでございました。厚く御礼申し上げます。皆様もご承知の通りIMはガバナー補佐が主催する、近隣都市のロータリアンが集う「研修と親睦の場」でございます。

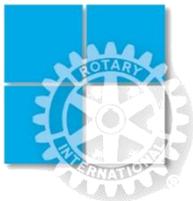
今年度のIMのテーマは、RI会長イアンH.Sライズリー氏と第2560地区新保清久ガバナーの掲げられた、「変革・改革」という言葉を受けまして、「ロータリーの明日を担う」、サブタイトルとして“新会員の声を聞く”とさせていただきます。

さて、近年ロータリアンが減少する中「会員増強・退会防止」はクラブの繁栄にとって必須の課題であります。何故なら、新入会員がいなくなれば、クラブの平均年齢の上昇、硬直化、マンネリ化などに陥り、クラブの活性化が失われていくこととなります。きれいな泉もその湧き水が絶えれば枯渇してしまうのと同じです。

今までは、会長、或いは増強委員長などそれなりの立場の方が登壇されていましたが、今回は視点を少し変えて、入会間もない、いわゆる入会して3年くらい経過し、これから各クラブを支えていくロータリアンの忌憚のない意見や思いなどを語ってもらうことにしました。

最後になり恐縮ですが、本日の基調講演を鈴木重吉パストガバナーにお願いしました。タイトルは「ロータリーの明日を考える」であります。また、ディスカッション後には講評をいただくことになっております。どうかよろしくお願いいたします。

今回のIMが皆様方の友情と認識を深め、それを持ち帰ることで、それぞれのクラブの発展に繋がることを願い、開会の挨拶とさせていただきます。



## 基調講演 「ロータリーの明日を考える」

パストガバナー 鈴木 重吉 様(長岡RC)

- 要旨**
- 1、ドイツで感じた世界的激変の兆候からロータリーを考える
  - 2、規定審議会で感じたこと
  - 3、ロータリーの明日を担おう

### はじめに・・・ドイツ夜話より

滞在中にイギリスでテロ発生  
知人たちが開いてくれた歓迎会の話題の中から

☆EUから見た日本

- ・自然と一体化した文化国家…神道、茶道、華道、柔道、剣道etc
- ・勤勉、礼節を重んじた生き様・・・日本文化に崇高さを感じる。

しかし、これほどの国が、この世界的危機に、何故リーダーシップが取れないのか???

☆何時から日本は変貌したのか

- ・国家感、危機感の希薄さ
  - ・政治への無関心さ
- 原爆を落とされても、なお、平和維持に対する危機感が無いクニ？  
国会では依然として井戸端会議的な話題に時間を浪費している？  
・軍隊が無くて国は守れるのか？ 国連軍などあてにしていけない。

国民を見れば平和ボケという意味がわかる・・・など

その間に我々は世界をリードすべく新たなビジョンを進めている。

### 1、ドイツで見た世界的激変の兆候から ロータリーを考える 未知との遭遇に備えて

いよいよ人類史に例を見ない劇的変容期の幕開けか？

第四次産業革命とは、ドイツ政府はインダストリー4.0を文字通り「第4次産業革命」と位置付けている。

インダストリー4.0とは・・・日本と並ぶモノづくり大国ドイツでは今、「インダストリー4.0」と呼ばれる産業改革プロジェクトが産官学の共同で進められている。

工場の生産設備や物流の現場などをインターネットで結び、AIによる自動管理で製造業の生産性、効率性、柔軟性などを飛躍的に高めようとする試み。



# ドイツの国家プロジェクト

第1次産業革命 18世紀、英国から世界に広がった繊維工場などへの「蒸気機関」の導入によるもの。

第2次は 20世紀、米国を中心とする「モーターやベルト・コンベヤーなどの電気技術」によるもの。

第3次は 20世紀後半、日本を中心とするエレクトロニクス（マイクロ世界を解明する量子物理学に基づき、電子を自在に操作する技術）によるもの。

ここまでは何とか付いて来れた。生活も便利で豊かさを満喫できた

そして第4次産業革命は 「インターネットやAI」の製造業への導入で世界をリード。

## AIによる劇的変革(進化?)

SFとして想像していた世界が現実化する時代の到来は目前

地球を超えた範囲での変化・・・もはや避けようのない流れ

ロータリーも世界潮流のガラバコスにならないために、この現実を目をそらさず対応する必要あり。

ロータリアン個々の事業展開の手法は勿論の事、クラブ会員の職業分類など、ロータリーとして避けては通れない問題が山積。

この現実を前に、いかに対処するか！ 出来るか！！ しなければならない！！！！

## 2、規定審議会で感じたこと

これまでと大きく変わった激変を予想させるに十分な異様なムードの中で進行

「時代に追いつき、時代に適合して、将来の準備をする」ために2016年度の規定審議会で、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める一方、ロータリーの本質を忘れてはならないということからロータリーの目的、中核的価値観の「親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ」は変更されなかった。

キーワードはロータリーの「柔軟性」

① 例会、会員身分の大幅改正

② 例会システムの柔軟な対処法

RIが決断に至った背景

① グローバル社会で活躍するリーダーの現実的環境からの判断。

② インターネット・AIを駆使して動く社会環境の中では、従来システムでは対応不可。

③ 有能なる会員の獲得手段、危険を伴う紛争地域でのロータリー活動への対処法としての会員身分の変更。

## ※いずれをとっても、日本国内の価値観ではなかった

予測・・・世界の経済基盤の激変やテロなど国際的变化を見れば、EUとイギリスやトランプに代表されるナショナリズムなどに見られる、白人中心の世界の仕組みが AIという、人類でない存在が介入することで変容する。

ロータリーもRI一極集中の時代から変わらざるを得ないであろう。

いかなる事態にも備えるためには、このような現状を正確に理解し、日々の各クラブの活動をスキルアップする事だ。

## ひとりごと

☆ EU離脱の揺り戻し現象、トランプ政権の「死に体」化、目前か？

☆ 中華思想の覇権主義と世界進出（一帯一路政策）

☆ 世界の趨勢をどう読み取るか…ロータリーにも多大な影響があって当然

我々はどう判断し、将来を組み立てるのか・・・

身近で楽しいロータリーにする努力

場合によっては生体間移植も必要

## 3、ロータリーの明日を担おう！ 新会員の声を聞き、如何に應えるか！

約35,000 クラブ、120 万人の会員を擁する世界有数の奉仕団体となった国際ロータリー・・・

今、ロータリーに何が必要か？

不易流行（松尾芭蕉の俳諧理念・哲学）

「不易」…永遠に変わらない、伝統や芸術の精神。

「流行」…新しみを求め、時代とともに 変化するもの。

相反するようにみえる流行と不易も同根である。

形にとらわれず、本質を守り、新たな時代を切り開こう！

ロータリーの旗を掲げよ！ 規範は四つのテスト

新会員の要望の中にもヒントあり！（長岡クラブの例）

偏らない心、捉われない心、こだわらない心、般若心経空の心也



# PANEL DISCUSSION 「-新会員の声を聞く-」

パネリスト 三条南RC 長谷川直哉 会員

## ロータリーに入会したきっかけ

以前、祖父が入会していたこと、他にも身近な先輩が多く在籍されており、そこにお誘いを受けたので、断る理由がなかったから。

## 入会して感じたこと

前述のきっかけでも書いたところですが、身内や近い先輩との関係で入会した会員が多いことからか、会員相互の絆が非常に強く、深い付き合いができる会だと感じたのが第一印象です。また縦・横・斜めの関係性が強いのは良いところだと思います。

「知り合いを広めることで奉仕の機会とする。仕事を通じて社会奉仕する。奉仕の理念を育み実践すること。それらの奉仕ができたネットワークで国際平和の推進をする」 会の目的の75%は奉仕のため、そして残りがその奉仕を通じて世界平和に寄与する、という極めてシンプルで崇高な理念に納得しました。

会員とその配偶者の誕生日や結婚記念日、にプレゼントをもらうのも、ロータリークラブに入って当たり前のようにしているところは、国際的な感覚なんだと思いました。例会が毎週というのは最初は少し戸惑いました。また、想像したよりもお酒の機会が少ない気がしました。

例会時に事前出欠を取らないことは悪い点ではないか？デメリットとして、食事がたくさん残って「もったいない」と思うこと。ごく稀ですが、逆に参加者が多く、食事が不足すると、手間と経費が誠に不効率であります。

## 入会してクラブへの思い、

### これからのロータリーでの活動やロータリーへの希望

折角、世界組織のロータリーに入会したのだから、国際交流（個人としても）を進めていきたいです。よく海外の国際見本市やコンベンションに出かけると、会場内に特設場所が設けられ、アテンダンスや例会扱いのナイトの案内を良く見かけます。これぞ国際組織の醍醐味、未だ海外の例会には参加したことはありませんが、いずれの機会に参加してみたいです。

典型的な欧米の男女参画型社会、人口の半分が男性と女性であることを考えると、ロータリークラブ（日本の）でもっと女性が活躍しても良いのでは、と考えています。



